

— サムラングのクリニックで伝統医療・薬草利用が始まりました —

このところ下痢患者が増えているサムラングクリニックでは、周辺の畑で栽培を奨励している薬草が利用され、その薬効が改めて見直されています。森林の消滅とともに姿を消した薬草 (Herbal Medicine) と伝統医療の復活です。—ヘルスワーカー・リディアからの報告より— 私たちの医療支援が、医薬品代の嵩む西洋医学に全面的に頼るのでなく、むしろ伝統文化への自信を取り戻す形で生かされているようで安心しました。

なお、前号で約束した新任の助産婦ジョジョによるビラーンの医療事情報告は、このところ現地とのファックス通信が不調で間に合わず次回にさせていただきます。(事務局)

— サムラング住民組合 [その後] —

すでに一部報告しましたように、サムラングの組合発足最初の収穫は豊作で、種苗や肥料など、当初組合から住民が借りた農業資材の返済率は97%の高率になりました(10%の利子分加えて組合に返済)。

HANDSの支援で3月半ばには組合が発足していて、長い干ばつ後の待望の降雨開始とともにすぐ種が配布でき、収穫も早かったためと住民は感謝しています。コーンの値段は不安定で、早目に販売できたサムラング組合員の場合、8ペソ(約26円)/kgだったのに、半月後には4.7ペソに下落しました。不作の時も組合を通じて乗り切れるよう

に、組合理念や農業技術のセミナーが識字教室と同時に続けられています。—サムラング・コーディネーターのラウロ及び分校教師エレナの報告より—



●コーンシエラー(脱粒機)で遊ぶ子供

— 毎週金曜日はコミュニティー 植林デー —

サムラングではすでに、3000株のグラス(硬木の1種)の苗、300本のナラ、50本のマホガニー、100本のアカシア・マンジュン、その他数多くの土着樹種や果樹の苗が植えられました。住民が週に一度植栽作業に参加しています。

それぞれの家の周りに栄養改善の緑黄野菜を作る指導も始めました。—ラウロの報告より—

この苗木や肥料代は、すでにご紹介した賛助会員・北野さんによるご寄附や、訪問の度に目にする見事な禿山を何とかしたいという篠原さんの植林基金寄附から支援させていただきます。(事務局)

— 中古のコーン・ミル(製粉機)購入しました — 【アトゥモロック生産組合・プロジェクト】

ひどい悪路を下の町までコーンを運ぶのは大仕事のアトゥモロックで、今回の組合育成事業の目玉は、収穫後処理機械の購入およびその共同利用でした。しかし、コーン・ミル(製粉機)については、事前の価格調査が不十分で大幅な予算オーバーと分かり、今回は購入をあきらめかけましたところ、安い中古品がようやく見つかったと11月下旬に報告が入りました。

配分金助成を受けた事業では、種苗代や人件費を節約してコーンミルを買うというような科目間流用はよほどの理由がないと許されません。綿密な計画と適正な事業実施は、資金の提供者であるボランティア貯金協力者に対する当然の務めですが、交通、通信が未発達なミンダナオ山中の事業では、立案の際の資料集めも計画どおりの実施も思うようにはいかず、6月の事業完了までは気が抜けません。

11月6-8日の組合運営および農業技術セミナーには、組合員以外の住民も含めて60名余りが参加したという報も届きました。現地にとってはかなり大きな今回の資金導入が、ゆっくり進んできた伝統社会のよい面を壊すことなく、みんなが少しずつ豊かになるように、セミナーの成果に期待したいと思います。(事務局)